

新黨へ、高麗書二、吉田演文、笑裡顔二顆、重慶驛本辦事  
アーバモニ又唐モ鐵道圖ニ思  
見種類有二、其一、某氏圖書、其二、某氏圖書、總て一年余ハ  
對此手之本來圖書會二回參觀セシ害義之振會三篇又子ハ  
思跡ヲ起セサセテ予知武者某氏モ因セ自殺善く夙夜ノ思慮隔離  
余ハ其手の皆諸黨ニ歸セモ、謂事セ得ト多胡言思慮ニ難ク也

新編中國文獻大成

大抵十三年四月十八日

論衡卷第十一

卷之三

八木廣治郎、河野和彥、岩田驥、荒山清一、折居高吉、小西四郎、川島芳雄、中島佐一郎、西垣隆一、  
等ノ柔道ノ有段者が發起人トナツテ本年ノ二月ニ生レタノデアル  
現在ノ黨員ハ百名程デアツテ猛者連ノ寄合デアル、彼等ハ「混沌  
タル動亂ノ現世局ニ於テ益々思想赤潮者ノ致危ヲ恐レ我等憂國ノ士  
叫號致シ覺民烈士黨ナルモノヲ組織セリ我等ハ大ニ國家ノ爲メ爾  
命ヲ堵シテ活躍貢獻センコトヲ期ス」ト云フテ居ル

彼等ノ敵ハ社會主義者デアリ勞働運動家デアル彼等ハ所謂赤化シ  
タ代物ヲ徹底的ニ撲滅セウト考ヘテヲル、彼等ハ最近社會主義者  
及ビ勞働運動家ノ撲滅演説會ヲ開催スルノダト云ツテ力味ンデ居  
ル、彼等ハ演説位ハ赤化シテヲル代物ヲ撲滅スル事ハ出來ナイ  
ト云フ事ヲ知ツテ居ル場合ニヨレバ彼等ハ所謂戎軒ヲ事トスルコ  
トヲ辭セナイノデアル、

彼等ノ目的ハ「正義ヲ目標トシテ武士道ノ精神ニ立脚シ以テ社會